

## 5. 結果

### 1) 回収の状況

調査の依頼メールは合計で 173,427 通の配信が行われ、そのうち回収率は 0.5%であった。事前調査・本調査の各回における回収世帯数は以下のとおりである。

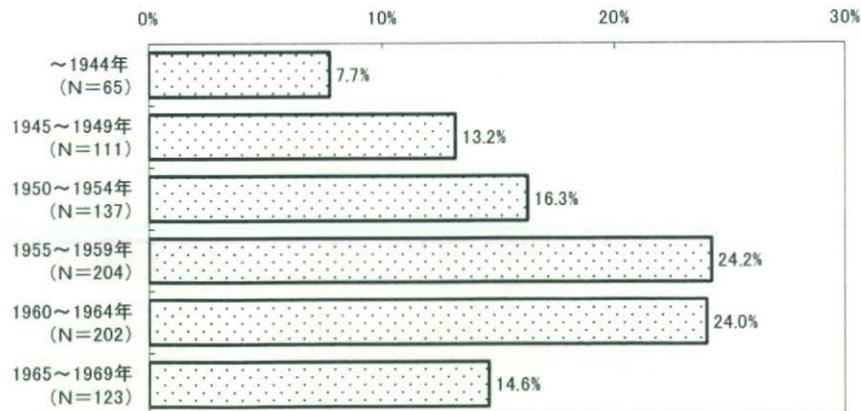
実施調査	回収世帯数
事前・本調査第1回目（1年及び12月分）	853世帯
本調査第2回目（1月分）	745世帯
本調査第3回目（2月分）	709世帯
本調査第4回目（3月分）	685世帯

### 2) 回答者本人および家族の属性

#### ■誕生年

回答者本人および家族の誕生年は、1955～1959年が 24.2%と最も多く、次いで 1960～1964年が 24.0%で続いている。これらを合わせた 1955年からの 10年間で、およそ半分を占めることが分かる。

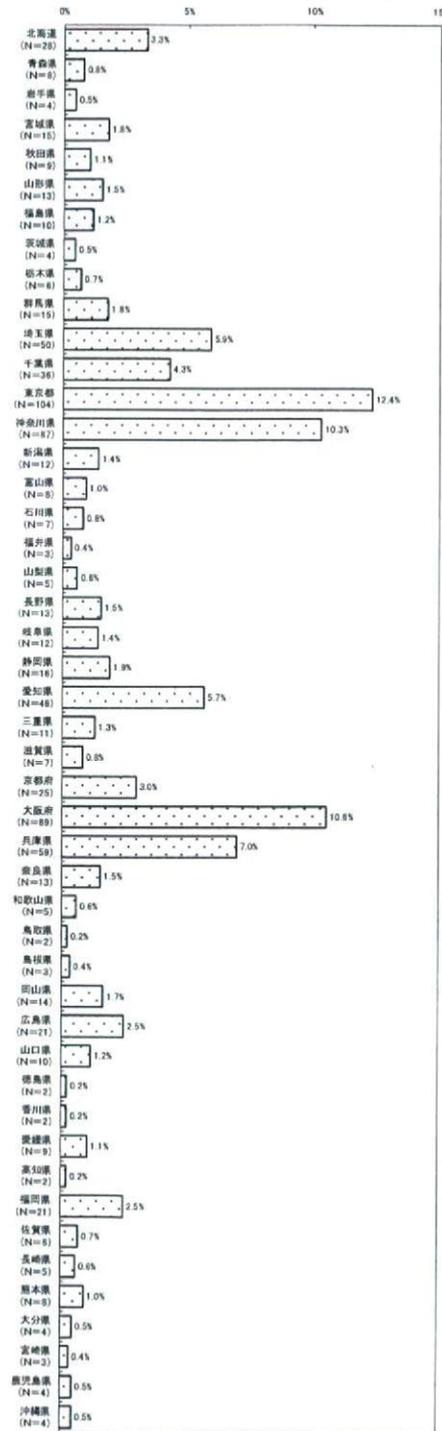
図表 5 - 2 - 1 誕生年



■ 居住都道府県

回答者本人および家族の居住都道府県は、「東京都」が 12.4%と最も多く、次いで「大阪府」が 10.6%、神奈川県が 10.3%と続いている。

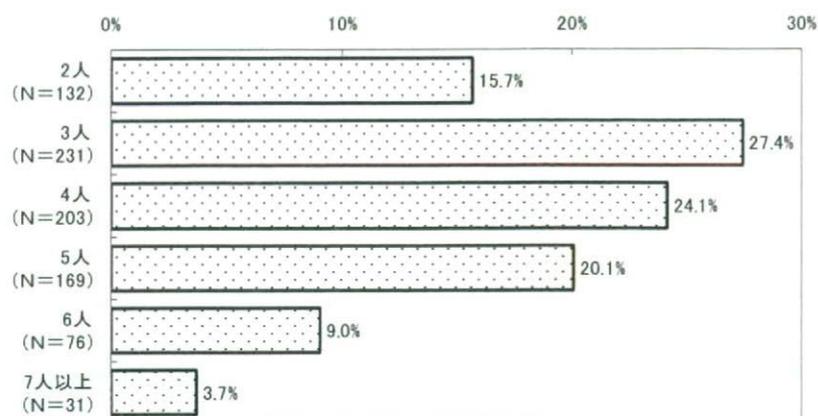
図表 5 - 2 - 2 居住都道府県



■現在同居している家族の人数

現在同居している家族の人数は、「3人」が最も多く 27.4%、次いで「4人」が 24.1%、「5人」が 20.1%と続いている。

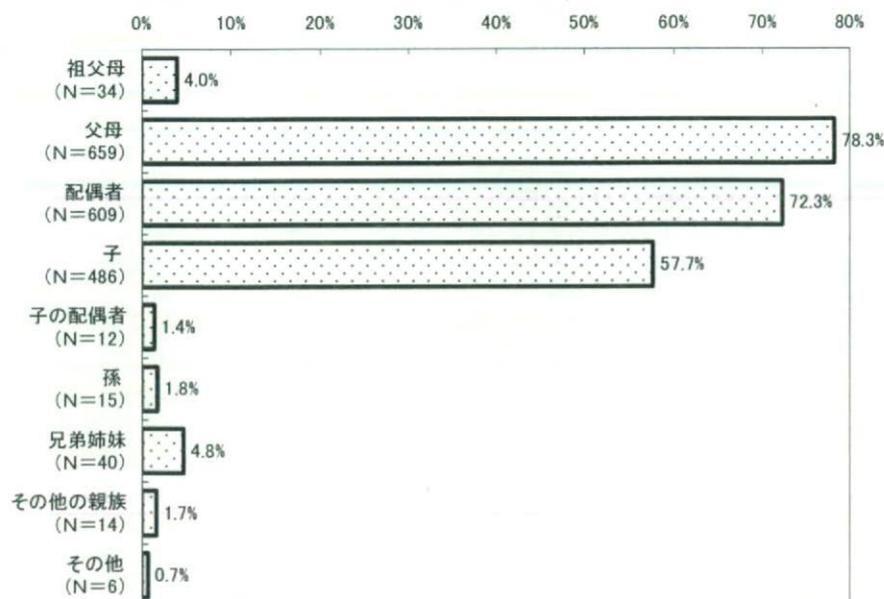
図表 5 - 2 - 3 現在同居している家族の人数



■現在同居している家族との続柄

現在同居している家族との続柄は、「父母」が 78.3%、「配偶者」が 72.3%、「子」が 57.7%と続いている。回答はこれら3つが大半を占める結果となっている。

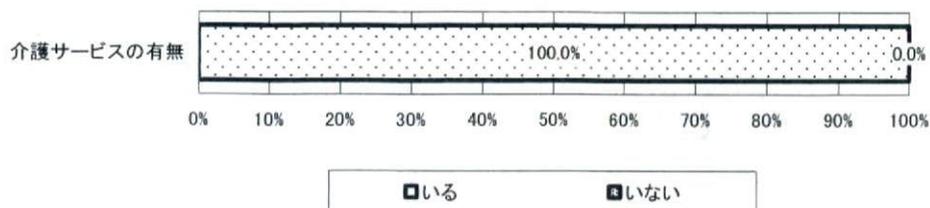
図表 5 - 2 - 4 現在同居している家族との続柄



■現在何らかの介護サービスを受けている同居中の家族の有無

現在何らかの介護サービスを受けている同居中の家族の有無については、すべての回答者が「いる」と答えており、調査対象世帯の条件を満たしている。

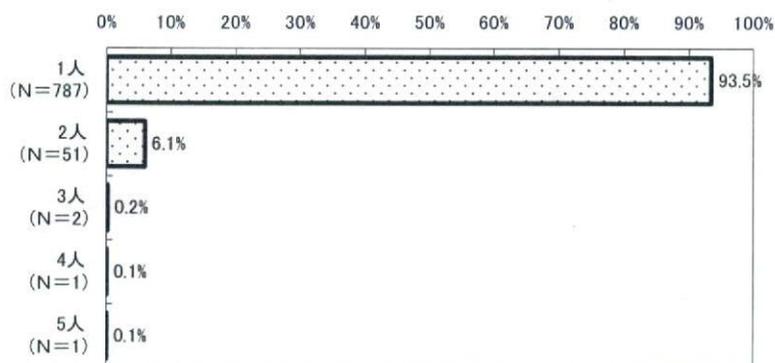
図表 5 - 2 - 5 現在何らかの介護サービスを受けている同居中の家族の有無



■介護サービスを受けている同居中の家族の人数

介護サービスを受けている同居中の家族の人数は、「1人」が 93.5%とほとんどを占めている。「2人」と回答した割合は 6.1%、「3人」以上という回答はいずれも 0.2%以下となり極めて少ない。

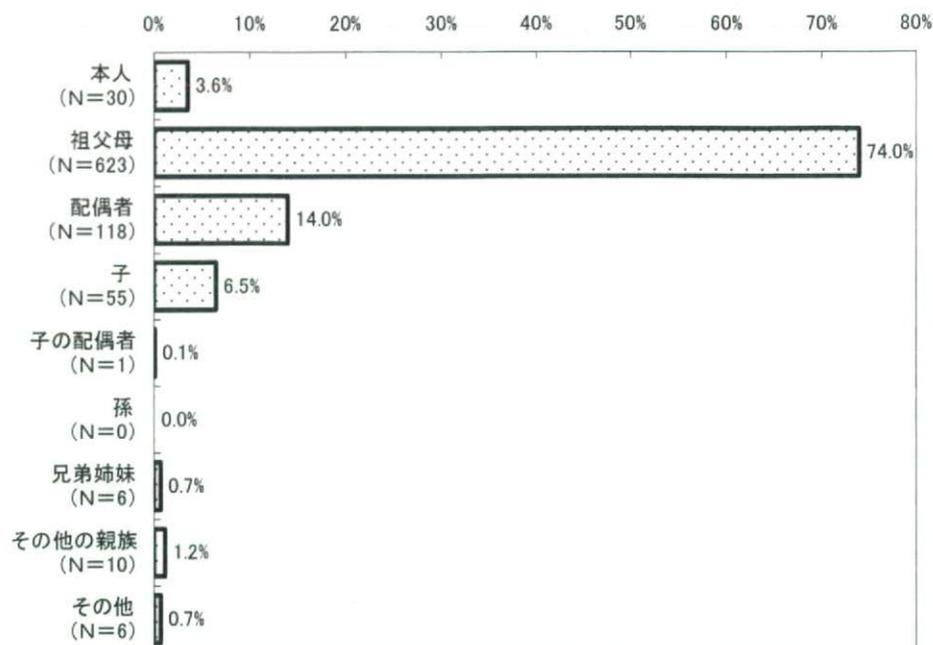
図表 5 - 2 - 6 介護サービスを受けている同居中の家族の人数



## ■介護サービスを受けている家族との続柄

介護サービスを受けている家族との続柄は、「祖父母」が最も多く 74.0%、「配偶者」が 14.0%、「子」が 6.5%、「本人」が 3.6%などとなっている。

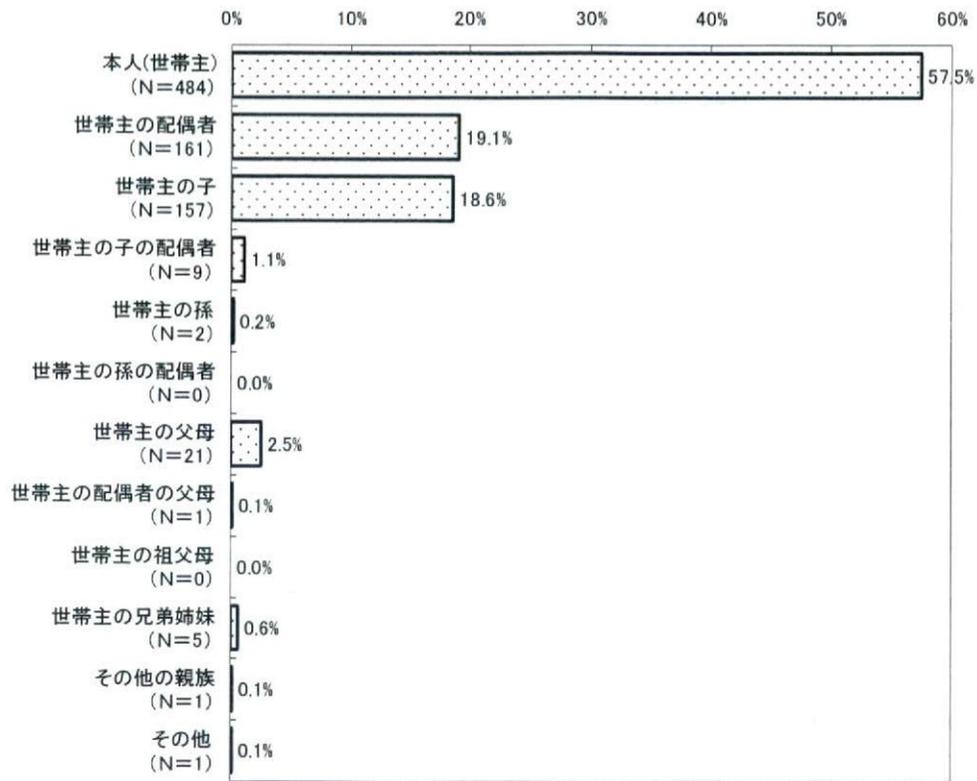
図表 5 - 2 - 7 介護サービスを受けている家族との続柄



## ■世帯主との続柄

世帯主との続柄は、「本人(世帯主)」が最も多く57.5%、「世帯主の配偶者」が19.1%、「世帯主の子」が18.6%と続いている。

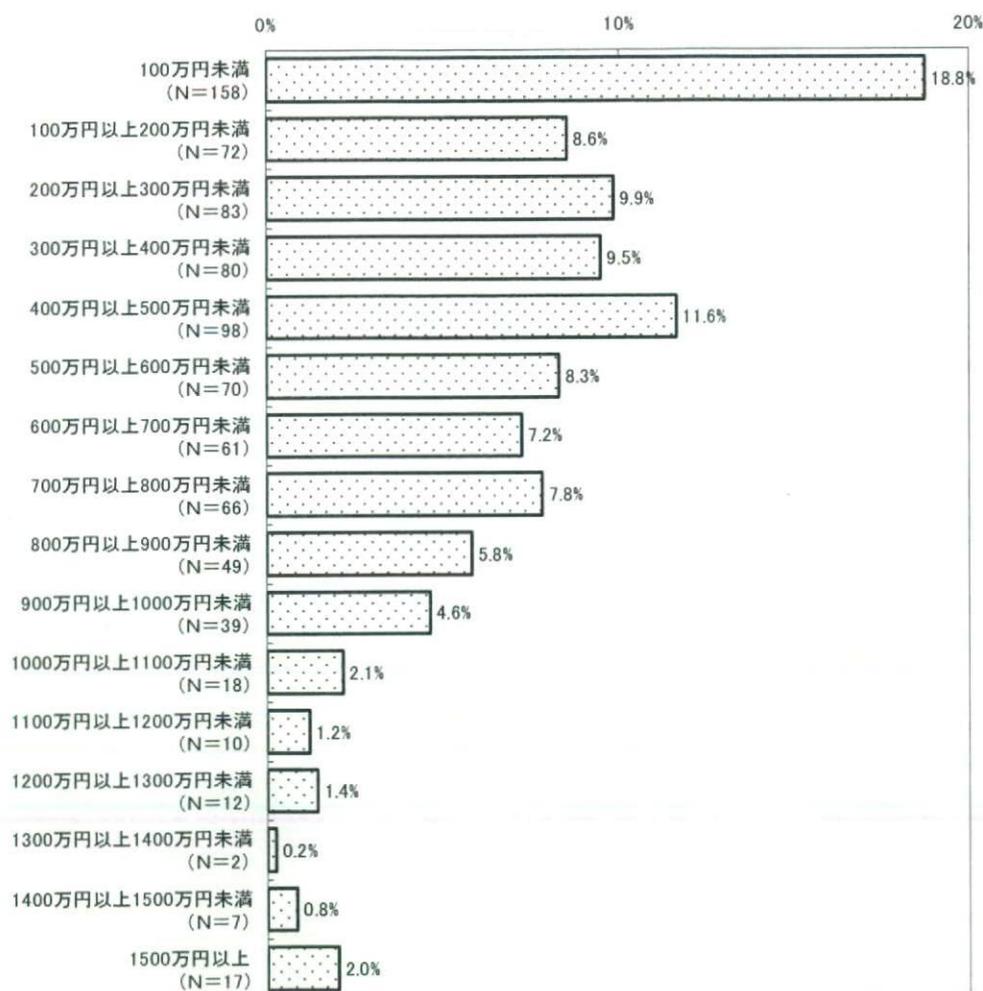
図表 5 - 2 - 8 世帯主との続柄



## ■年収

年収は「100万円未満」が18.8%と最も多く、次いで「400万円以上500万円未満」が11.6%、「200万円以上300万円未満」が9.9%、「300万円以上400万円未満」が9.5%と続いている。

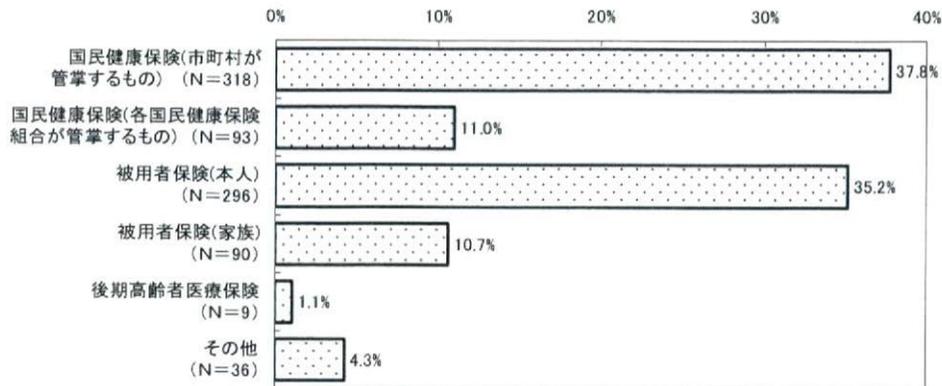
図表 5 - 2 - 9 年収



## ■ 公的医療保険の加入状況

公的医療保険の加入状況は、「国民健康保険(市町村が管掌するもの)」が 37.8%、「被用者保険(本人)」が 35.2%となり、これら2つで7割を超えている。

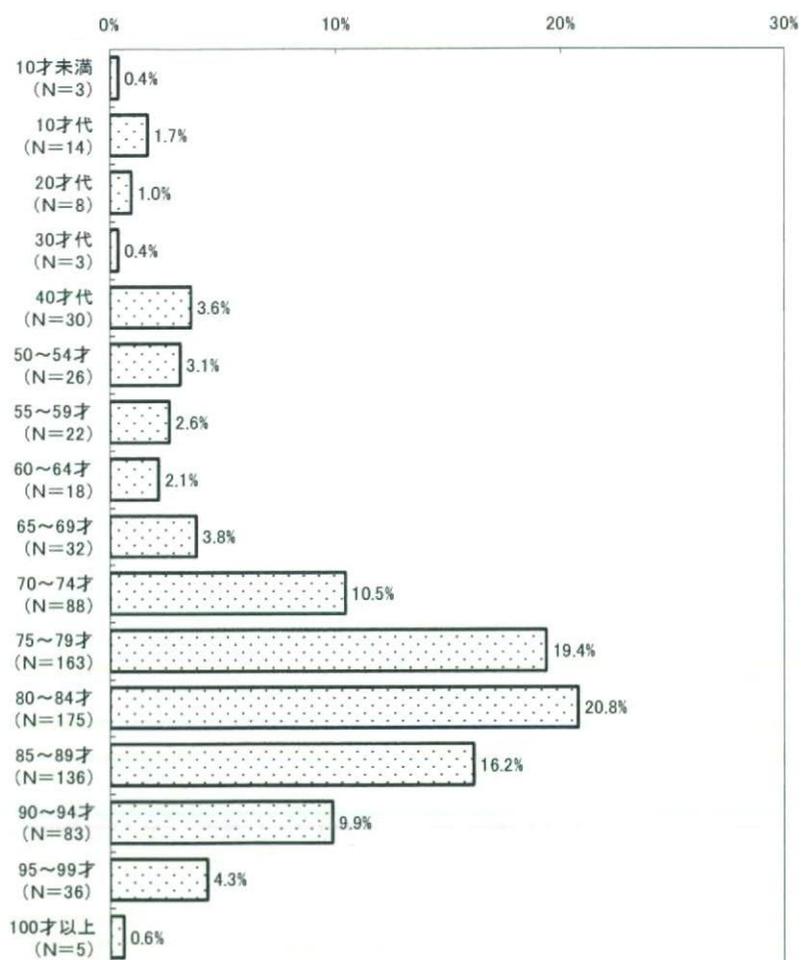
図表 5 - 2 - 10 公的医療保険の加入状況



## ■家族の年齢

家族の年齢は「80～84才」が20.8%と最も多く、次いで「75～79才」が19.4%、「85～89才」が16.2%と続いている。

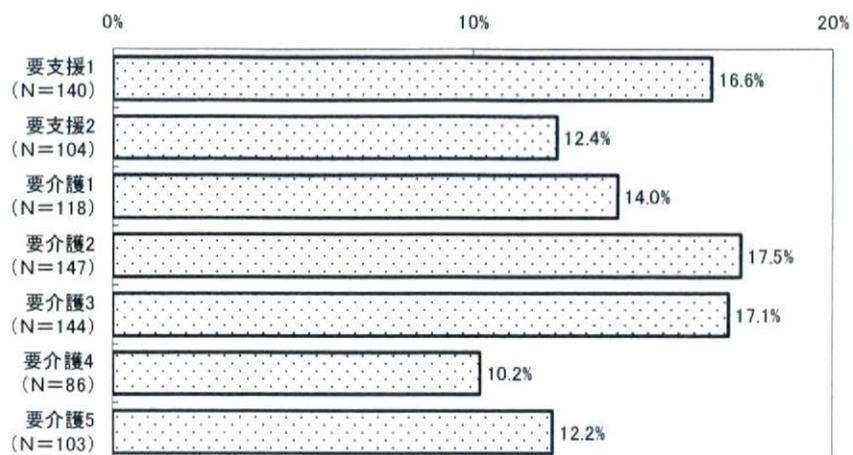
図表 5 - 2 - 11 家族の年齢



## ■家族の介護段階

家族の介護段階は回答結果が分散しており、「要介護2」が 17.5%、「要介護3」が 17.1%、「要支援1」が 16.6%となっている。

図表 5 - 2 - 12 家族の介護段階



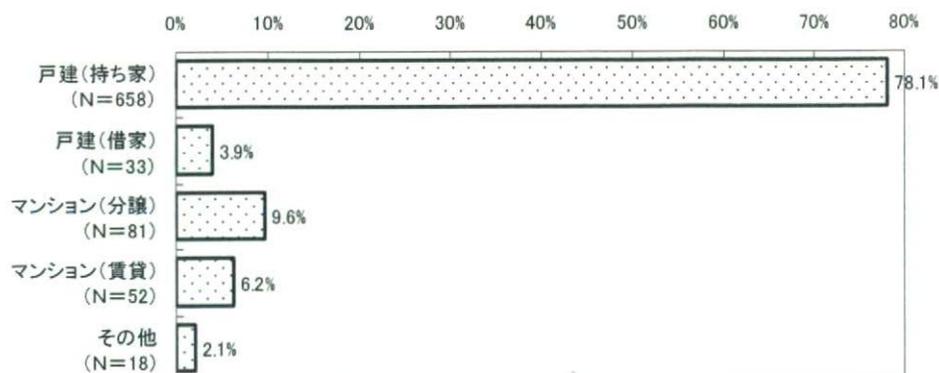
### 3) パネル調査結果と既存統計調査との比較

#### ■住居形態の状況

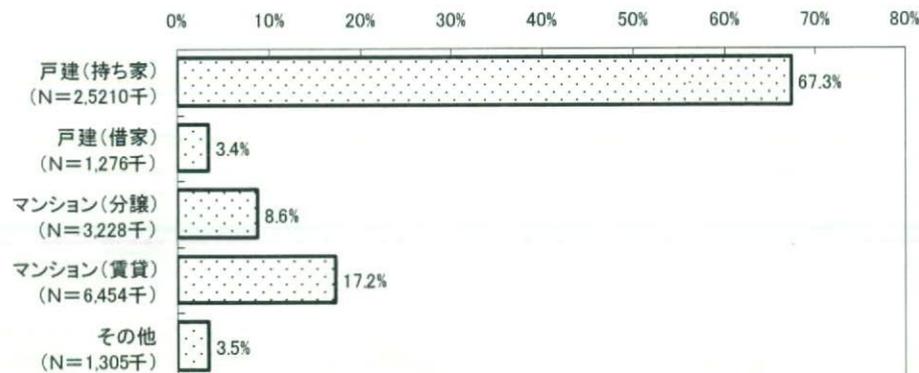
住居形態の状況は、パネル調査、国民生活基礎調査とも「戸建(持ち家)」が最も多い回答となっている(それぞれ 78.1%、67.3%)。また、「マンション(賃貸)」という回答が、パネル調査においては 6.2%、国民生活基礎調査においては 17.2%となり、サンプルに一定の差異が生じた。

図表 5 - 3 - 1 住居形態の状況

#### 【パネル調査】



#### 【国民生活基礎調査】



※ パネル調査データは、「住居形態」のデータを集計。

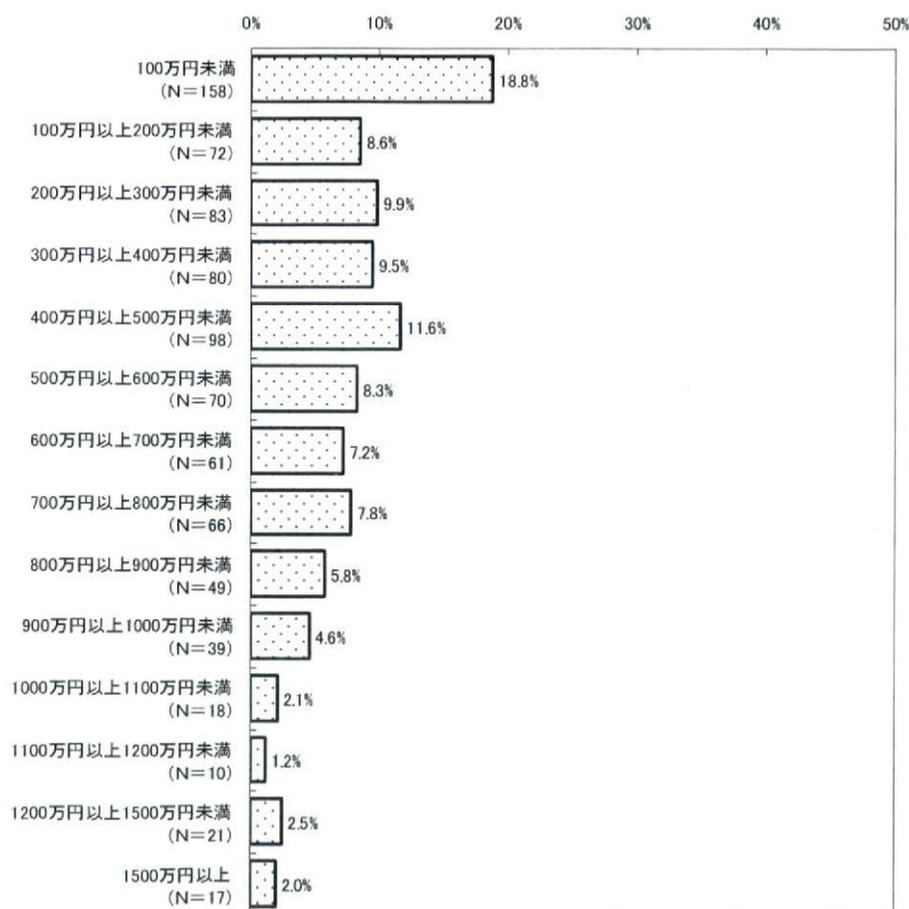
※ 国民生活基礎調査は、平成 19 年の世帯主が 40 歳以上の世帯における「住居の種類」のデータ。

## ■本人の年収の状況

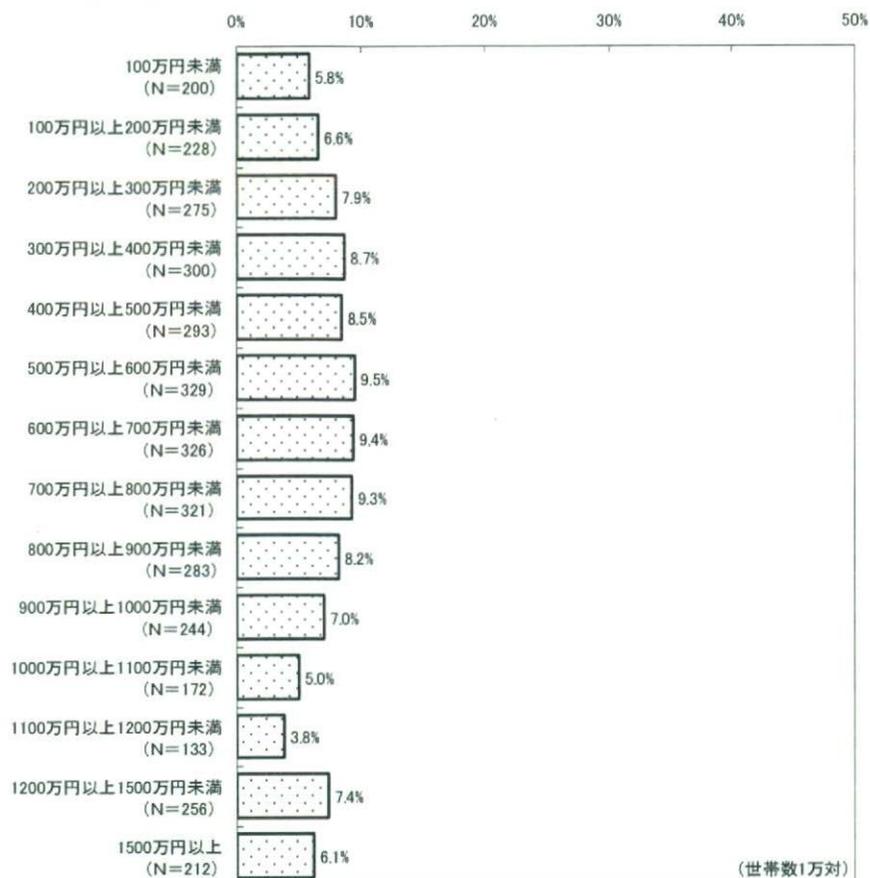
本人の年収の状況は、パネル調査において「100万円未満」が18.8%と最も多くなっているのに対して、国民生活基礎調査において「100万円未満」は5.8%にとどまる。一方、国民生活基礎調査では「500万円以上600万円未満」が最も多く9.5%、次いで「600万円以上700万円未満」が9.4%、「700万円以上800万円未満」が9.3%などとなっている。

図表 5 - 3 - 2 本人の年収の状況

### 【パネル調査】



【国民生活基礎調査】



※ パネル調査データは、「本人の年収」のデータを集計。

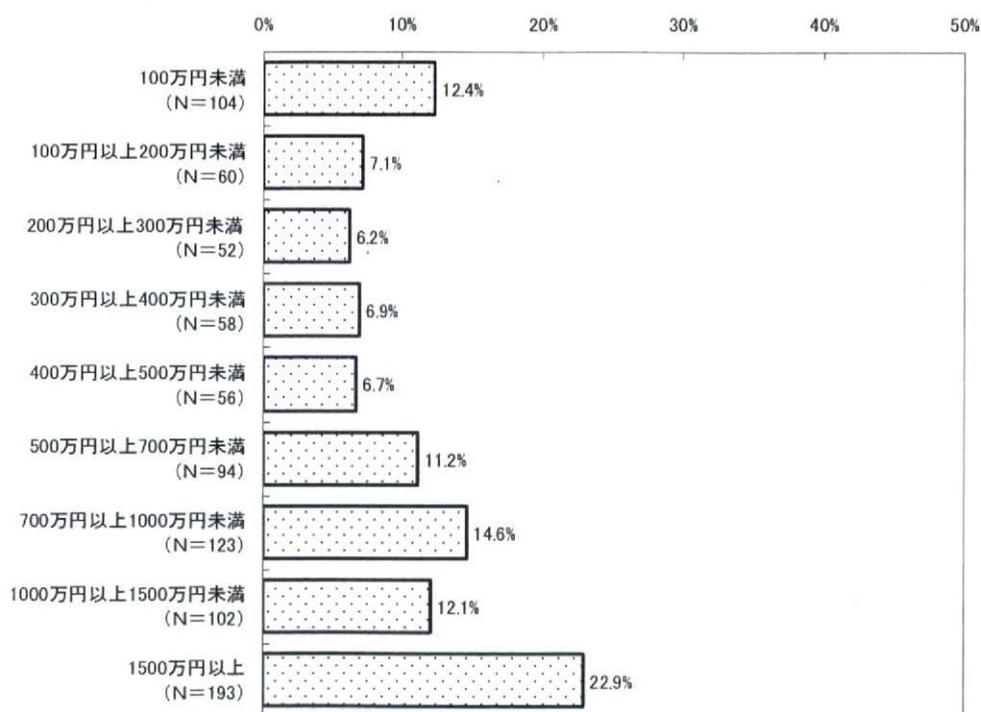
※ 国民生活基礎調査は、平成19年の世帯主が40～59歳の世帯における「所得金額」のデータ。

## ■世帯での貯蓄額の状況

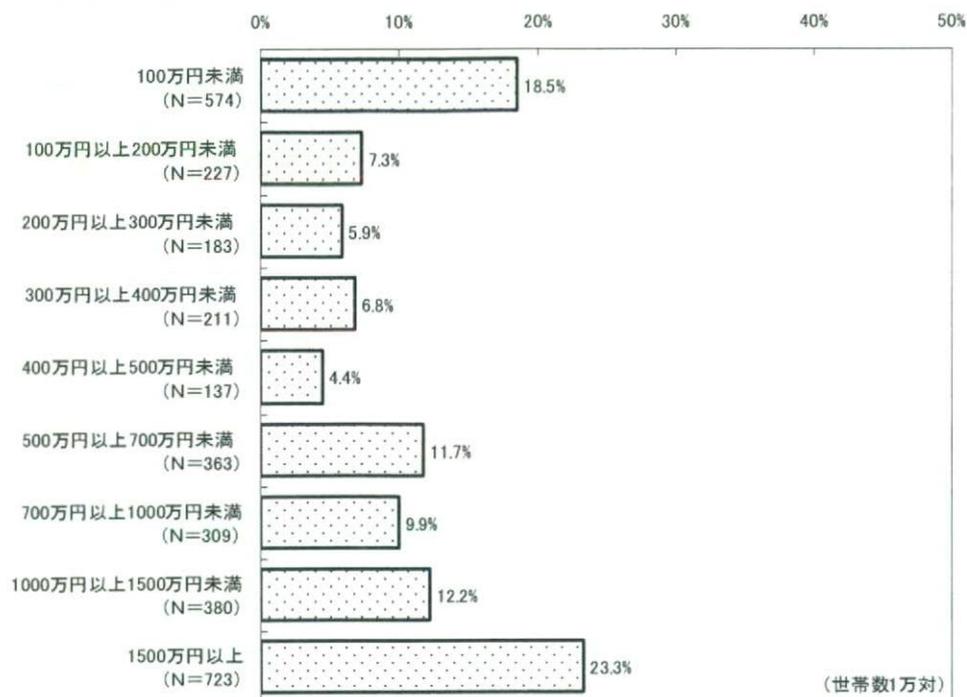
世帯での貯蓄額の状況は、パネル調査、国民生活基礎調査とも「1500万円以上」が最も多い回答となっている(それぞれ 22.9%、23.3%)。これに次ぐ回答としては、パネル調査においては「700万円以上 1000万円未満」(14.6%)、「100万円未満」(12.4%)と続いている。一方、国民生活基礎調査においては「100万円未満」(18.5%)、「1000万円以上 1500万円未満」(12.2%)と続いている。

図表 5 - 3 - 3 世帯での貯蓄額の状況

### 【パネル調査】



【国民生活基礎調査】



※ パネル調査データは、「世帯での貯蓄額」のデータを集計。

※ 国民生活基礎調査は、平成19年の世帯主が40～59歳の世帯における「貯蓄額」のデータ。

### ■年間の公的な保険料の状況

年間の公的な健康保険の保険料の状況は、パネル調査において平均およそ45.9万円となっている。これに対して、家計調査の参考データは平均およそ19.5万円となっており、パネル調査との差異が生じている。

年間の公的な介護保険の保険料の状況は、パネル調査において平均およそ10.7万円となっている。これに対して、家計調査の参考データは平均およそ1.8万円となっており、パネル調査との差異が生じている。

図表 5 - 3 - 4 年間の公的な健康保険の保険料の状況

	平均値	中央値	最大値	最小値	データ数
公的な健康保険の保険料	459,261円	291,432円	9,654,300円	0円	296件
家計調査	194,748円	—	—	—	—
40～49歳	213,252円	—	—	—	—
50～59歳	224,232円	—	—	—	—
60～69歳	161,916円	—	—	—	—

※ パネル調査データは、被用者保険(本人)のデータのみを抽出して「健康保険の合計額」のデータを集計。

※ 家計調査は、平成20年度の二人以上の世帯のうち勤労者世帯における「健康保険料」の項目のデータ。

図表 5 - 3 - 5 年間の公的な介護保険の保険料の状況

	平均値	中央値	最大値	最小値	データ数
公的な介護保険の保険料	107,474円	40,144円	1,850,000円	0円	296件
家計調査	18,456円	—	—	—	—
40～49歳	24,324円	—	—	—	—
50～59歳	24,960円	—	—	—	—
60～69歳	23,976円	—	—	—	—

※ パネル調査データは、被用者保険(本人)のデータのみを抽出として「介護保険の年間保険料」のデータを集計。

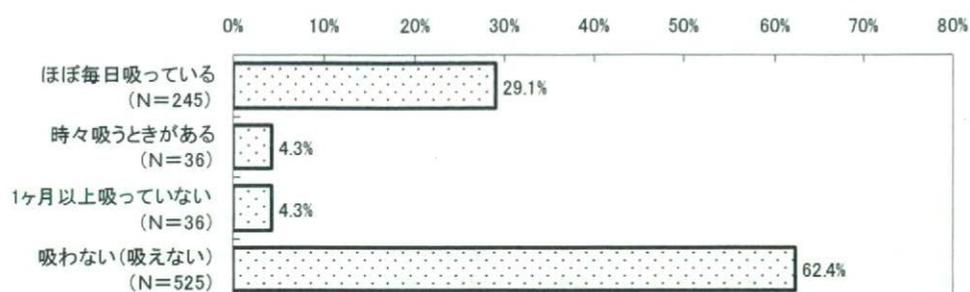
※ 家計調査は、平成20年度の二人以上の世帯のうち勤労者世帯における「介護保険料」の項目のデータ。

## ■本人の喫煙習慣の状況

本人の喫煙習慣の状況についてみると、「吸わない(吸えない)」がパネル調査において62.4%、国民生活基礎調査において67.4%、また「ほぼ毎日吸っている」がパネル調査において29.1%、国民生活基礎調査において28.4%となっており、両調査は近い分布を示している。

図表 5 - 3 - 6 本人の喫煙習慣の状況

### 【パネル調査】



### 【国民生活基礎調査】



※ パネル調査データは、「本人の喫煙習慣」のデータを集計。

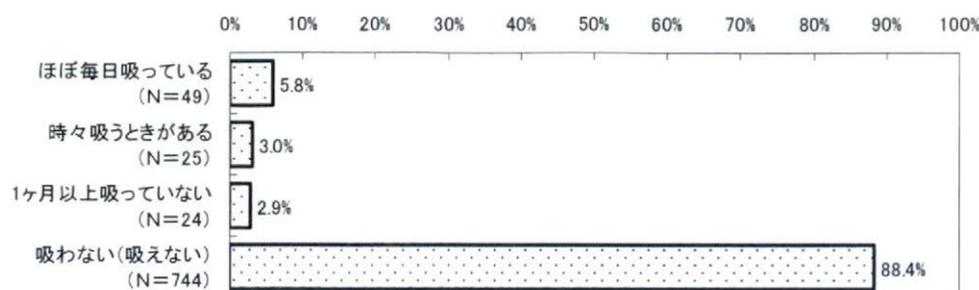
※ 国民生活基礎調査は、平成19年の世帯主が40～64歳の世帯における「喫煙の有無」のデータ。

## ■ 家族の喫煙習慣の状況

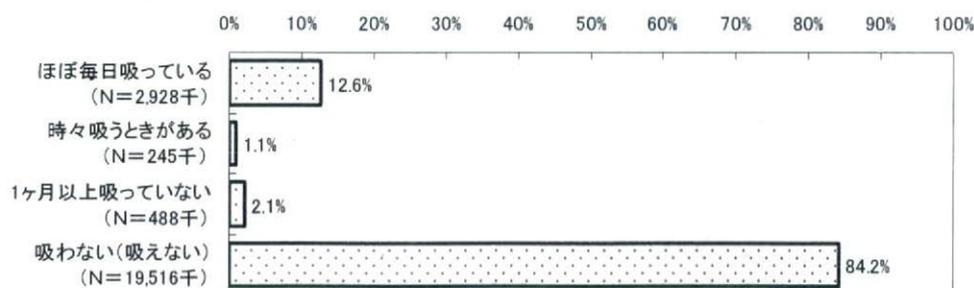
家族の喫煙習慣の状況については、いずれの調査においても「吸わない(吸えない)」が大きな割合を占めている(パネル調査においては 88.4%、国民生活基礎調査においては 84.2%)。次いで「ほぼ毎日吸っている」に関しては、パネル調査において 5.8%、国民生活基礎調査において 12.6%となっている。

図表 5 - 3 - 7 家族の喫煙習慣の状況

### 【パネル調査】



### 【国民生活基礎調査】



※ パネル調査データは、「本人の喫煙習慣」のデータを集計。

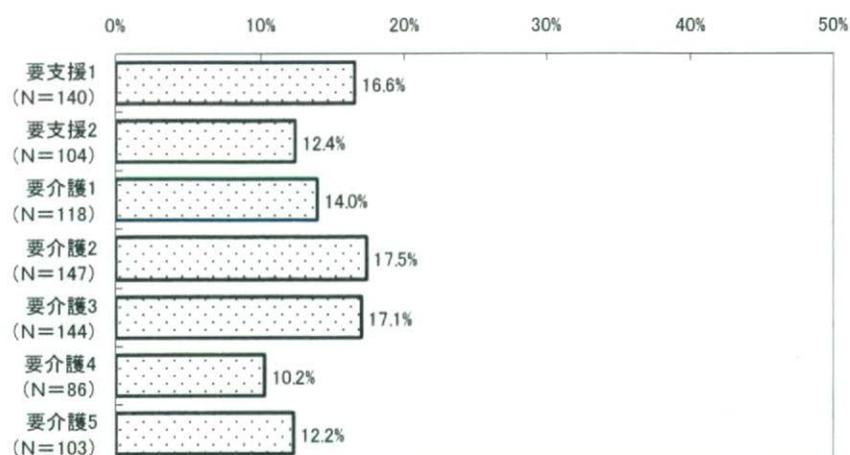
※ 国民生活基礎調査は、平成 19 年の世帯主が 40～64 歳の世帯における「喫煙の有無」のデータ。

## ■家族の介護段階の状況

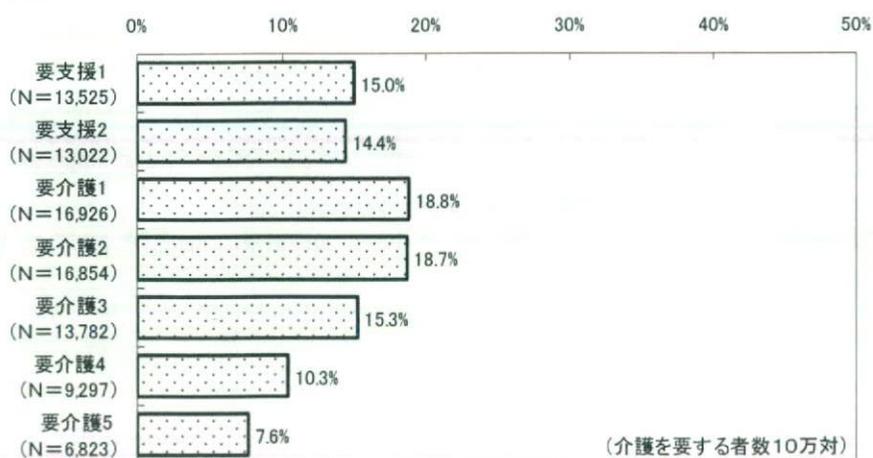
家族の介護段階の状況としては、パネル調査、国民生活基礎調査ともに比較的散らばった分布となっている。パネル調査においては「要介護2」が17.5%と最も多く、次いで「要介護3」が17.1%となっている。一方、国民生活基礎調査においては「要介護1」が18.8%と最も多く、次いで「要介護2」が18.7%となっている。

図表 5 - 3 - 8 家族の介護段階の状況

### 【パネル調査】



### 【国民生活基礎調査】



※ パネル調査データは、「家族の介護段階」のデータを集計。

※ 国民生活基礎調査は、平成19年の65歳以上の「介護を要する者の現在の要介護度の状況」のデータ。

### ■年間の保健医療に係る負担額、購入費用の状況

年間の保健医療用品・器具の購入費用の状況をみると、パネル調査と家計調査との間で、平均購入費用は近い額となっている(それぞれ 25,366 円、25,968 円)。

年間の健康保持用摂取品の購入費用の状況としては、パネル調査が平均 19,085 円、国民生活基礎調査が平均 13,260 円となっている。

年間の保健医療サービスの負担額、および年間の医薬品の購入費用の状況に関しては、いずれもパネル調査の平均値が国民生活基礎調査の平均値を大きく上回る結果となった。両調査の間で項目分類の違いが存在することから、単純な比較が難しいものといえる。

図表 5 - 3 - 9 年間の保健医療用品・器具の購入費用の状況

	平均値	中央値	最大値	最小値	データ数
公的な介護保険の保険料	25,366 円	0 円	990,000 円	0 円	842 件
家計調査	25,968 円	—	—	—	—
40～49 歳	28,656 円	—	—	—	—
50～59 歳	24,264 円	—	—	—	—
60～69 歳	21,240 円	—	—	—	—
70 歳～	22,896 円	—	—	—	—

※ パネル調査データは、回答者本人および家族の「視力補助器具」、「整形外科的補装具」、「その他補助器具等」の購入費用のデータの合計値を集計。

※ 家計調査は、平成 20 年度の二人以上の世帯における「保健医療用品・器具」の項目のデータ。

図表 5 - 3 - 10 年間の健康保持用摂取品の購入費用の状況

	平均値	中央値	最大値	最小値	データ数
健康保持用摂取品費	19,085 円	0 円	692,370 円	0 円	842 件
家計調査	13,260 円	—	—	—	—
40～49 歳	17,868 円	—	—	—	—
50～59 歳	19,776 円	—	—	—	—
60～69 歳	24,792 円	—	—	—	—
70 歳～	26,796 円	—	—	—	—

※ パネル調査データは、回答者本人および家族の「サプリメント」の購入費用のデータの合計値を集計。

※ 家計調査は、平成 20 年度の二人以上の世帯における「健康保持用摂取品」の項目のデータ。